

SHIP

第24期 2015年4月 1日▶
2016年3月31日

株主通信



SHIP HEALTHCARE

シップヘルスケアホールディングス株式会社

生命を守る人の環境づくり

証券コード：3360



代表取締役会長(CEO)

古川 國久



代表取締役社長(COO)

小川 宏隆

SHIP

Sincere (誠実な心) Humanity (「情」の心) Innovation (革新者の気概) PartnerSHIP (パートナーシップ精神)

創業の旗印は、いまでも息づく……

SHIPの理念のもと、 Your Companyであり続ける

当社は創業時に社員皆で共有していく理念として、『SHIP』を掲げました。この『SHIP』は、Sincere(誠実な心)、Humanity(「情」の心)、Innovation(革新者の気概)、PartnerSHIP(パートナーシップ精神)の頭文字をとったものです。この理念を共有し、理想的なYour Companyを築き上げる。これが企業としてのビジョンであり、社員一人ひとりのアイデンティティでもあるのです。

風を起こす “旬”を追いかける!

～ゼロリセット～

この度の熊本地震において、お亡くなりになられた方々のご冥福をお祈りするとともに、被災されたすべての方々に心からのお見舞いを申し上げます。
一日も早い復旧・復興を心よりお祈り申し上げます。

株主の皆さまにおかれましては、平素より格別のご支援を賜り厚く御礼申し上げます。

当社グループは、長期目標として連結売上高1兆円を掲げております。この達成に向けて主力の5セグメント分野で様々な取り組みを重ねておりますが、他の産業界と同様に、当社グループのフィールドであるヘルスケア市場にも大きな転換点が押し寄せております。ヘルスケア市場は、国民の命を守り、高齢社会への対応として、重要感を増してまいりましたが、近年の医療法改正や地域医療の推進、医療と介護の連携など様々な変革の波により、先が読めない不透明な時代に突入しております。このような時代においては、これまでの需要を取り込んでいくのはもちろんのこと、自らが風(改革)を起こし、その中で“旬”(新しいビジネス)を追い求めることが重要であります。

この風を起こすには、市場を動かすプレゼン力、実際に対応する現場力、そして、これらの力を支える人間力・経験力が必要となります。当社グループは、創業時より業界のイノベーターとして、この3つの力を原点にしてまいりました。今、市場が不透明になる中で、もう一度原点に立ち帰り、スピード感を持った事業運営を行うと同時に、この原点の思想をもって、グループ構造をリセットしてまいります。

本年4月1日に小西共和ホールディング株式会社をグループに迎え入れました。この経営統合により、日本のヘルスケア産業のリーダーとしての地位を確立するとともに、「理念経営集団」として、義を重んずる中で、「義」と「利」を共存させ、グループの発展を目指してまいります。

株主の皆さまには、今後とも変わらぬご支援・ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

至誠惻怛

SHIPの源流はここから始まる……

グループ理念

まごころ(至誠)があれば、やさしく(仁)になれる

「目上にはまことを尽くし、目下にはいつくしみをもって接するのです。心の持ち方をこうすれば、物事をうまく運ぶことができます。つまり、この気持ちで生きることが、人としての基本であり、正しい道なのです。」

上記の言葉は幕末に備中松山藩の財政危機を救い、藩政改革を成し遂げた山田方谷が河井継之助に贈った言葉である。



山田方谷は幕末、15代徳川慶喜將軍の首席老中である備中松山藩主板倉勝静を助けながら、「貧乏板倉(備中松山藩)と言われた藩をわずか8年で、財政再建を行うとともに、教育改革、軍政改革等を行った、政治家・実践派の財政家。(野島透著「山田方谷に学ぶ財政改革」より)

山田方谷が「誠意中心主義」という考え方を基盤としたように、当社グループも個人が自分の考えをしっかりと持ち、お客さまには誠意を持って奉仕し、社会の基盤をしっかりと見直し、それを再認識して発展させていきたいと考えています。

2016年 キーワード 至誠惻怛

当社グループは、2016年のキーワードを”至誠惻怛”といたしました。近況の社会を眺めると、大企業の粉飾決算やデータの改竄など、にわかに信じがたい事実が次々と明るみになっています。「SHIP」を掲げる当社グループは、社会の流れが”至誠惻怛”から逸脱していく中で、この想いを守り、発展させていかなくてはなりません。2016年は、グループ体制、事業構造をゼロから見直す年といたしました。この意味でSHIPの源流である”至誠惻怛”に焦点を合わせてまいります。

『進化』と『成長』はとまらない

理念経営集団

SHIP、書籍となる



日経BP
コンサルティングより、
好評発売中!

紀伊國屋書店梅田本店
週間ランキング(4/25-5/1)
ビジネス書1位、総合5位

1992年に数人で創業し、15年で東証一部上場。現在、4月に経営統合した小西共和HDを含めグループ48社、2017年3月期の業績見込みで、連結売上高4,000億円を超える企業集団へと成長してまいりました。書籍では、創業者 古川 國久が会社員の時代に京都市役所で「椅子のキャスターを修理した」エピソードからスタートしています。様々なエピソードを紐解いて行くと、これまでの持続的成長を土台から支えてきたのが「SHIP」であることがわかります。今回、書籍として取り上げられたのはこの理念です。「利」を争う社会の中で「義」と「利」が共存できる新たなビジネスモデルを提示し、現代社会に一石を投じています。

増収増益を達成

当期の状況といたしましては、トータルパックプロデュース (TPP) 事業のプロジェクト案件が計画通りに計上されるとともに、メディカルサプライ (MSP) 事業におけるM&Aや受託件数の増加効果、期初計画を上回った調剤薬局事業などが寄与し、売上高は前年同期比12.3%増の3,068億円となりました。一方増収は達成したものの、TPP事業における一部メーカー系の業績が計画に対して未達であったとともに、ライフケア事業も施設入居率・利用率が積み上がったものの計画に対しては未達となりました。このような状況に加え、医療業界における価格下げ圧力、建築費の上昇などにより、営業利益は前年同期比3.3%の増益にとどまりました。当社グループではこのような結果を受けて、グループ体制の再整備、事業基盤の強化に取り組んでまいります。なお、当期の1株当たり配当金につきましては、前期の記念配当(7円)を除く48円に7円増配し55円とさせていただきます。

(単位：百万円)

	2015/3	2016/3	増減率/額	期初予想 (2015年5月8日 発表)
売上高	273,327	306,853	12.3% ▲	300,000
営業利益	13,597	14,049	3.3% ▲	14,800
経常利益	13,910	14,737	5.9% ▲	15,100
親会社株主に 帰属する 当期純利益	7,472	8,847	18.4% ▲	8,300
1株当たり配当金 (円)	48.0 (55.0)	55.0	7.0円 ▲	52.0

※ 2015年3月期の配当金は、普通配当48.0円に7.0円の記念配当を実施しています。

日本のヘルスケア産業のリーダーを目指して

当社は、2016年3月1日の取締役会の決議を受けて、4月1日付けで小西共和グループと経営統合いたしました。当社グループは、本統合を契機に日本のヘルスケア産業のリーダーを目指して、地位をより強固にしていくとともに、すべてのステークホルダーから高い評価が得られる企業集団を目指してまいります。

小西共和ホールディング株式会社(以下:小西共和HD)は、歴史ある医療機器販売会社として多くの地域基幹病院からSPD業務を受託し、大阪府、鳥取・島根県、そして広島県などの中国地方に強固な地盤を形成し、持続的な成長を続けているグループです。現在のヘルスケア業界を取り巻く環境は、急速な少子高齢化の進展や国民医療費の増加、診療報酬の改定などにより大きく変化してきております。

こうした中、変化に対応できる人材の強化・育成、取引先に対する交渉力の強化や顧客基盤のさらなる拡充に向けて、経営統合をいたしました。この経営統合により、当社が本社を置く大阪府下の事業基盤が盤石となるとともに、小西共和HDの持つ人材や幅広い情報網、顧客基盤、医療機関との強固な関係等の経営資源と融合を図ることでシナジーを追求し、変化への対応を推し進めてまいります。

III 経営統合の意義と目的



III 小西共和ホールディング株式会社の概要

商号	小西共和ホールディング株式会社		
事業内容	医療用機器及び器具の販売		
創業	1946年3月		
本社所在地	大阪市中央区内淡路町二丁目1番5号		
代表者名	代表取締役 CEO兼COO 小西 賢三		
資本金	90百万円		
連結売上高	835億89百万円(2015/8期)		
連結子会社	小西医療器株式会社 共和医理器株式会社 株式会社野上器械店 メディカルロジスティクス株式会社		

海外事業の進捗

バングラデシュ子会社設立

当社グループは、ここ数年ASEAN地域を中心に海外展開を進めてまいりましたが、この度、2016年2月にバングラデシュにおける合弁事業契約の調印式を行いました。この調印式には、バングラデシュ国の保健大臣や投資庁、日本大使館などから数々の要人が出席されるとともに各メディアにも大きく取り上げられました。当社グループでは本件を皮切りに海外の病院向けにヘルスケアサービス事業を展開してまいります。



III 会社概要

社名	Ship Aichi Medical Service Ltd.
住所	Aichi Nagar, JBCS Sarani, Horirampur, Turag, Uttara, Dhaka, Bangladesh
事業内容	病院向けヘルスケアサービス事業
設立日	2016年4月28日
役員	代表取締役会長 小林宏行 マネージングディレクター DR. MD. Moazzem Hossain

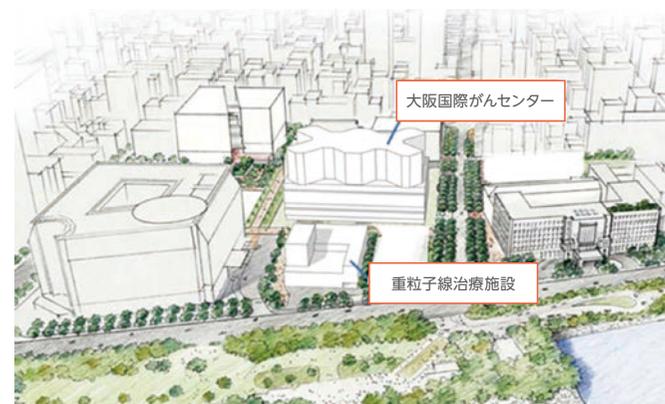
重粒子線がん治療施設

大阪国際がんセンターと事業連携

当社グループが建築を進める重粒子線がん治療施設が、大阪府のバックアップのもと隣接して移転新築中の、大阪国際がんセンターと事業連携し、「大阪国際重粒子がん治療センター（仮称）」として先進医療を総合的に提供する同エリアの一翼を担っていくことになりました。当社グループは、このような事業を通じ、第5の柱であるヘルスケアサービス事業を拡充させてまいります。

2018年度の開業を予定し、現在建築が進められております重粒子線がん治療施設は、全国で6番目となる施設です。また、民間の運営施設としては初の事例となります。この重粒子がん治療は、従来の放射線（X線）では、効果があまり期待できなかったがんや部位の治療を可能とする先端技術として注目が集まっています。

このような中、今回、同施設は隣接する大阪国際がんセンター（現大阪府立成人病センター）と事業連携を行い、国民への総合的な先進医療の提供を担うこととなりました。また、先進医療を求めるニーズは国内のみならず、海外でも広がっており、日本のヘルスケアにおけるインバウンド需要に対応するために、当社グループのメディカルツーリズム事業とも連携してまいります。当社グループは、このように施設の整備のみならず、外部との連携、グループ内事業の活用などを通じて、ヘルスケア市場で“旬”となるサービスをつくり出し、第5の柱に据えたヘルスケアサービス事業を拡充してまいります。



大阪国際重粒子がん治療センター（仮称）構想パース



建築現場風景

連結財務諸表

連結貸借対照表

	当 期 2016年3月31日現在	前 期 2015年3月31日現在	前期比 増減額
【資産の部】			
流動資産	140,137	136,051	4,086
現金及び預金	36,255	38,676	△ 2,421
受取手形及び売掛金	78,302	72,636	5,666
電子記録債権	1,862	1,373	489
リース投資資産	4,172	4,365	△ 193
商品及び製品	8,074	8,292	△ 218
仕掛品	1,763	1,902	△ 139
原材料及び貯蔵品	982	755	227
繰延税金資産	1,469	1,442	27
短期貸付金	1,682	1,741	△ 59
その他	5,656	4,968	688
貸倒引当金	△ 84	△ 101	17
固定資産	78,270	66,430	11,840
有形固定資産	43,723	38,135	5,588
建物及び構築物	12,888	13,518	△ 630
機械装置及び運搬具	309	270	39
土地	12,401	8,595	3,806
貸与資産	54	31	23
賃貸不動産	12,410	12,706	△ 296
建設仮勘定	2,593	750	1,843
その他	3,064	2,261	803
無形固定資産	12,302	11,223	1,079
のれん	11,323	10,173	1,150
その他	979	1,049	△ 70
投資その他の資産	22,244	17,071	5,173
投資有価証券	6,525	5,030	1,495
長期貸付金	10,098	7,195	2,903
退職給付に係る資産	441	508	△ 67
繰延税金資産	1,394	989	405
破産更生債権等	181	187	△ 6
差入保証金	4,840	4,479	361
その他	1,192	1,159	33
貸倒引当金	△ 2,430	△ 2,478	48
繰延資産	48	80	△ 32
株式交付費	48	80	△ 32
資産合計	218,456	202,562	15,894

(単位：百万円)

	当 期 2016年3月31日現在	前 期 2015年3月31日現在	前期比 増減額
【負債の部】			
流動負債	99,105	89,160	9,945
支払手形及び買掛金	71,074	66,707	4,367
電子記録債務	10,058	4,614	5,444
短期借入金	1,615	1,590	25
1年内返済予定の長期借入金	3,822	3,807	15
未払法人税等	3,255	3,316	△ 61
繰延税金負債	7	8	△ 1
賞与引当金	1,532	1,464	68
工事損失引当金	1	6	△ 5
その他	7,738	7,644	94
固定負債	37,827	37,538	289
社債	2,050	2,060	△ 10
長期借入金	29,168	29,569	△ 401
退職給付に係る負債	2,080	1,914	166
繰延税金負債	72	635	△ 563
資産除去債務	326	288	38
その他	4,129	3,069	1,060
負債合計	136,933	126,698	10,235
【純資産の部】			
株主資本	79,828	73,727	6,101
資本金	15,553	15,553	-
資本剰余金	20,356	20,385	△ 29
利益剰余金	44,366	38,236	6,130
自己株式	△ 448	△ 447	△ 1
その他の包括利益累計額	1,166	1,580	△ 414
その他有価証券評価差額金	1,082	1,326	△ 244
為替換算調整勘定	136	200	△ 64
退職給付に係る調整累計額	△ 52	54	△ 106
非支配株主持分	528	555	△ 27
純資産合計	81,522	75,864	5,658
負債純資産合計	218,456	202,562	15,894

連結損益計算書

(単位：百万円)

	当 期 2015年4月1日～ 2016年3月31日	前 期 2014年4月1日～ 2015年3月31日	前期比 増減額
売上高	306,853	273,327	33,526
売上原価	270,181	238,205	31,976
売上総利益	36,671	35,121	1,550
販売費及び一般管理費	22,622	21,523	1,099
営業利益	14,049	13,597	452
営業外収益	1,119	1,169	△ 50
営業外費用	430	855	△ 425
経常利益	14,737	13,910	827
特別利益	126	63	63
特別損失	1,174	253	921
税金等調整前当期純利益	13,690	13,720	△ 30
法人税、住民税及び事業税	5,515	5,934	△ 419
法人税等調整額	△ 788	224	△ 1,012
当期純利益	8,963	7,562	1,401
非支配株主に帰属する当期純利益	116	89	27
親会社株主に帰属する当期純利益	8,847	7,472	1,375

連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	当 期 2015年4月1日～ 2016年3月31日	前 期 2014年4月1日～ 2015年3月31日
営業活動によるキャッシュ・フロー	16,708	1,682
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 14,913	△ 6,995
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 4,013	21,817
現金及び現金同等物に係る換算差額	△ 18	17
現金及び現金同等物の増減額	△ 2,236	16,522
現金及び現金同等物の期首残高	37,755	21,233
現金及び現金同等物の期末残高	35,518	37,755

業績の概要

主要経営指標の推移 [日本基準] (連結)

(単位: 百万円)

	2012/3	2013/3	2014/3	2015/3	2016/3	2017/3 (予想)
売上高	188,839	224,363	259,189	273,327	306,853	418,000
営業利益	10,132	12,544	13,857	13,597	14,049	15,800
経常利益	11,251	13,589	14,754	13,910	14,737	16,100
親会社株主に帰属する当期純利益	7,026	8,589	8,523	7,472	8,847	9,400
総資産	129,989	144,389	173,393	202,562	218,456	—
純資産	35,256	42,547	47,621	75,864	81,522	—

セグメント情報 (2015年4月1日~2016年3月31日)

トータルパックプロデュース事業

トータルパックプロデュース事業におきましては、プロジェクト案件が計画通り計上された一方、建築費の高騰や、介護系施設における収益見通しの不透明感による需要減退等により、一部メーカー製品の受注・販売が低迷いたしました。

以上の結果、売上高は102,202百万円(前年同期比0.6%増)、営業利益は9,688百万円(同1.4%減)となりました。

メディカルサプライ事業

メディカルサプライ事業におきましては、M&Aを実施した整形外科系会社の業績が寄与すると共に、新規のSPD業務受託施設が増えたことから増収増益となりました。

以上の結果、売上高は158,227百万円(前年同期比23.5%増)、営業利益は2,299百万円(同22.1%増)となりました。

ライフケア事業

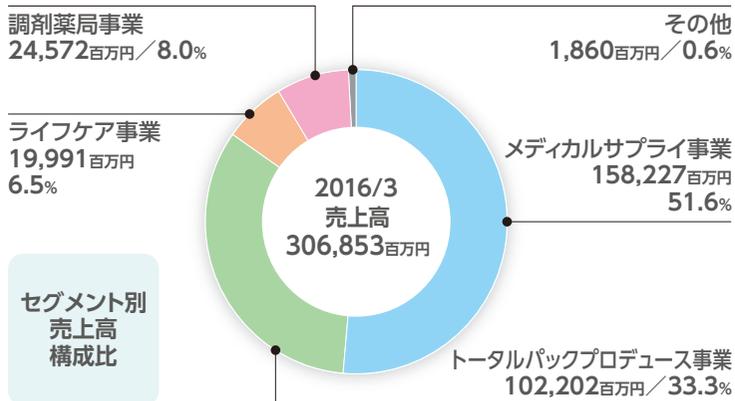
ライフケア事業におきましては、入居者数及び利用者数は引き続き増加いたしました。介護報酬減額の影響も大きく受け、計画達成には至りませんでした。

以上の結果、売上高は19,991百万円(前年同期比0.0%減)、営業利益は151百万円(同21.0%減)となりました。

調剤薬局事業

調剤薬局事業におきましては、新規店舗の開設や在宅対応及び人材教育の強化を進めると共に、一部薬局の買収や経営資源の効率的配分等により好調に推移いたしました。

以上の結果、売上高は24,572百万円(前年同期比10.3%増)、営業利益は2,275百万円(同23.2%増)となりました。



セグメント別売上高構成比

株式関連情報

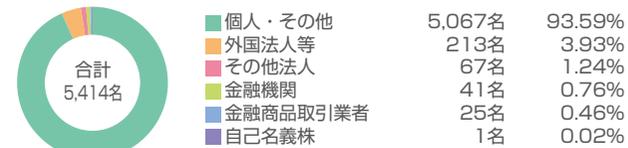
(2016年3月31日現在)

株式の状況

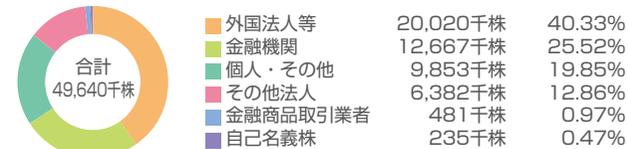
発行可能株式総数	64,000千株
発行済株式総数	49,640千株
株主数	5,414名

株式分布状況

株式分布状況 (株主数別)



株式分布状況 (株式数別)



※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

大株主の状況

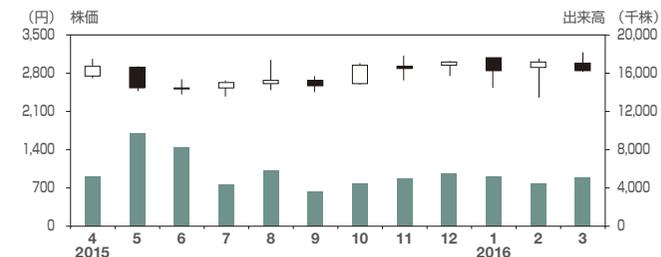
[保有株式数] [持株比率]

株式会社コッコー	3,988千株	8.07%
CBNY-ORBIS SICAV	3,542千株	7.17%
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社 (信託口)	2,895千株	5.86%
日本マスタートラスト信託銀行株式会社 (信託口)	2,719千株	5.50%
春日興産合同会社	1,400千株	2.83%
THE CHASE MANHATTAN BNAK 385036	1,249千株	2.52%
古川 國久	1,236千株	2.50%
古川 幸一郎	1,230千株	2.48%
全国共済農業協同組合連合会	1,046千株	2.11%
GOLDMAN SACHS INTERNATIONAL	1,038千株	2.10%

※ 株式数は、千株未満を切り捨てて表示しております。

※ 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

株価・出来高の推移



会社情報

III 会社概要 (2016年3月31日現在)

商号 シップヘルスケアホールディングス株式会社
設立 1992年8月
代表取締役会長(CEO) 古川 國久
代表取締役社長(COO) 小川 宏隆
資本金 155億5,301万円
決算月 3月
従業員数 連結 4,848名(正社員) 8,311名(従業員)
本社所在地 〒565-0853
大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL : 06-6369-0130
FAX : 06-6369-3191

III 役員 (2016年6月29日現在)

代表取締役会長(CEO)	古川 國久
代表取締役副会長	小西 賢三
代表取締役社長(COO)	小川 宏隆
代表取締役副社長	大橋 浩太
取締役副社長	沖本 浩一
専務取締役	増田 順
専務取締役	小林 宏行
常務取締役	横山 裕司
常務取締役	細川 賢治
取締役	早川 澄
取締役(社外)	和田 義昭
常勤監査役(社外)	岩元 廣志
社外監査役	中尾 秀光
社外監査役	大山 博康
社外監査役	大内 陽一朗

お問い合わせ・資料請求等は、下記まで…

シップヘルスケアホールディングス株式会社

〒565-0853 大阪府吹田市春日3丁目20番8号
TEL : 06-6369-0130 (IR窓口) FAX : 06-6369-3191

URL (ホームページアドレス)

<http://www.shiphd.co.jp/>

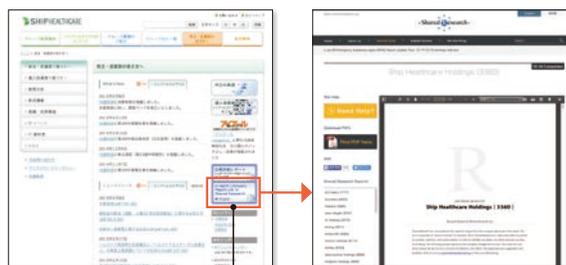


株主メモ

事業年度 4月1日～3月31日
期末配当金受領 3月31日
株主確定日 3月31日
定時株主総会 毎年6月中
株主名簿管理人 三菱UFJ信託銀行株式会社
及び特別口座の口座管理機関 2015年10月1日をもって特別口座の口座管理機関を変更しております。なお、株主名簿管理人については変更ございません。
同連絡先 三菱UFJ信託銀行株式会社 大阪証券代行部
〒541-8502 大阪市中央区伏見町三丁目6番3号
TEL 0120-094-777 (通話料無料)
上場証券取引所 東京証券取引所
公告の方法 電子公告により行う
公告掲載URL <http://www.shiphd.co.jp>
(ただし、電子公告によることが出来ない事故、その他のやむを得ない事由が生じたときは、日本経済新聞に公告いたします。)

(ご注意)

- 株主様の住所変更、その他各種お手続きにつきましては、原則、口座を開設されている口座管理機関(証券会社等)で承ることとなっております。口座を開設されている証券会社等にお問い合わせください。株主名簿管理人(三菱UFJ信託銀行)ではお取り扱いできませんのでご注意ください。
- 特別口座に記録された株式に関する各種お手続きにつきましては、三菱UFJ信託銀行が口座管理機関となっておりますので、上記特別口座の口座管理機関(三菱UFJ信託銀行)にお問い合わせください。なお、三菱UFJ信託銀行全国本支店でもお取り扱いいたします。
- 未受領の配当金につきましては、三菱UFJ信託銀行本支店でお支払いいたします。



IR Info ▶ In-depth Company Report Link to Shared Research

For Foreign Investors

SHIP HEALTHCARE HOLDINGS, INC. provides English financial report produced by Shared Research Inc.

Please check

<http://www.sharedresearch.jp/en/3360>

to view the report.

アンケートのお願い

当社では、株主の皆さまからいただいたご意見を誠実に受け止め、今後の経営及びIR活動に活かしてまいりたいと考えております。皆さまからの貴重なご意見をお待ちしております。なお、本アンケートを当社ディスクロージャーの充実以外の目的には利用しないことをお約束いたします。

Q1 当社株式をいつ頃ご購入されましたか?

- ①1ヶ月以内 ②2～5ヶ月前
③6ヶ月以上前 ④1年以上前
⑤株式上場時(2005年2月)

Q2 当社株式の今後の保有方針をお教えてください。

- ①中長期的に保有する ②短期で考えている
③買い増しする ④投資収益に応じて売却する
⑤未定

Q3 当社経営に関して、何を重視すべきと思われますか? (上位3点をお選びください)

- ①規模の拡大 ②ビジネスモデルの強化
③経営の効率化 ④収益性 ⑤安定性
⑥株主政策の強化 ⑦その他()

Q4 当社のIR活動に関して、何を重視すべきと思われますか?

- ①株主通信 ②ホームページ ③株主総会
④個人投資家向け説明会の開催
⑤その他()

Q5 今回の株主通信でご興味を持たれた内容は何ですか?

- ①マネジメントメッセージ ②トピックス
③連結財務諸表 ④業績の概要
⑤株式関連情報及び会社情報

Q6 今回の株主通信をどのようにご評価されますか?

- ①大変満足している ②ある程度満足している
③普通 ④あまり満足していない ⑤不満である

Q7 その他、ご意見・要望等をご自由に記入ください。